

地域再生計画（道整備交付金）事後評価調査

| | | | | | |
|-------|---------------|--------|---------------|---------|---------------------------------|
| 都道府県名 | 徳島県 | 事業実施主体 | 徳島県・三好市・東みよし町 | 地域再生計画名 | さらに、伝統の継承と三好市・東みよし町を体験するまちづくり計画 |
| 計画期間 | 平成22年度～平成26年度 | 評価責任者 | 三好市建設部長 | | |

| | 指標 | | 基準値 | | 中間目標値 | | | 最終目標値 | | | 事後評価 | 最終目標値の実現状況に関する評価 |
|------------------------------|--|---|---------------------|-----------|---|---|----------------------|---------------------|-------|----------------------|------|--|
| | | | 基準年度 | | 年度 | 中間実績 | 基準年度 | 最終実績 | | | | |
| ①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況 | 指標 1 | 搬出間伐材積量 | 1,690m ³ | H20 | 3,000m ³ | H25年 | 18,128m ³ | 3,000m ³ | H26年末 | 34,442m ³ | ○ | 全県で展開する次世代林業プロジェクトの進展に伴い早期の効果発現が図られ、林道等からの搬出間伐量が增大し目標を大幅に達成した。 |
| | 指標 2 | 道整備により区域住民の安全・安心度の向上（道路改良率） | 35% | H20 | 52% | H25年 | 43% | 52% | H26年末 | 53.9% | ○ | 目標を達成し、道路改良が着実に進捗しており区域住民の安全・安心度は向上している。 |
| | 指標 3 | 道路整備により区域何での観光客移動時間改善による満足度の向上（各目的地までの平均） | 107分 | H20 | 91分 | H25年 | 100分 | 91分 | H26年末 | 95分 | △ | 一定の時間短縮は図られ区域内での観光客移動時間が改善されたことにより、滞在型観光客数が増え、幅広い観光施設への入込客数が増えつつある。 |
| | 指標 4 | 農道整備による農産物の販売・集出荷施設への輸送時間 | 19.6分 | H20 | 11.39分 | H26年 | △ 27% | 11.39分 | H26年末 | △ 33% | △ | 本計画期間での整備により一定の時間短縮は図られたが、一部路床整備に着手できなかったことから、目標値には到達しなかった。 |
| ②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況 | 指標 1 | 海外からの観光宿泊者数 | 2,711人 | H24 | - | H25 | 4,609人 | - | H26年末 | 6,874人 | ○ | 市道・林道・農道のネットワーク化の推進に伴う、滞在・体験型観光により、特に海外からの観光客が平成24年の2.5倍に増加し地域活性化に大きく貢献した。 |
| | 指標 2 | 市有温泉施設への薪ボイラー導入に伴う間伐材使用量 | - | H24 | - | H25 | - | - | H26年末 | 570 t | ○ | 林道等の路網整備の進捗に伴う搬出間伐材供給量の増加と併せて、地域内における需要体制の整備により、環境に優しいまちづくりが促進された。 |
| ③事業の進捗状況 | 事業名 | | 整備量 m（その他の事業では取組内容） | | | 事業の進捗状況に関する評価 | | | | | | |
| | | | 計画 | 中間年度（H25） | 最終実績 | | | | | | | |
| | 特別措置を適用して行う事業 | 市町村道事業 | 102,000 | 8,000 | 8,179 | 整備量について8割程度の進捗となったが、道路改良率も着実に上昇し、また区域内での観光客移動時間が短縮されたことにより、幅広い観光施設への入込客数が増えつつある。しかし、区域内には通行危険箇所や幅員狭小箇所が多数あるので、さらなる通行の安全・安心度の向上のため次期計画において整備に取り組む。 | | | | | | |
| | | 広域農道事業 | 3,200 | 3,152 | 3,183 | 全体延長としてはほぼ達成し、農業の生産性の向上、農産物流通の合理化が図られた。 | | | | | | |
| 林道事業 | | 52,100 | 51,033 | 58,749 | 計画を上回る進捗となり、森林や周辺施設へのアクセスが改善されたことで、森林整備の効率化や素材生産量の増産が図られた。 | | | | | | | |
| その他の事業 | 観光施設の機能充実事業 | 四季を通じた観光の拠点として機能を充実させ各種イベントを実施 | | | 日本有数の清流吉野川を活かしたラフティングや重要伝統的建造物群保存地区に選定されている東祖谷落合地区の古民家を改修した体験型観光イベントを実施した。また、平成26年海外からの宿泊者数は6,925人と、前年の約1.5倍に増加した。 | | | | | | | |
| | 観光施設整備事業 | 市内観光施設の施設照明LED化及び温泉施設の熱源として薪ボイラーの導入 | | | 市有温泉5施設に、薪ボイラー20台を設置。間伐材など森林資源の有効利用に加え、燃料費の削減にもつながっている。また、市役所本庁舎、市立体育館の照明LED化や市内小中学校等に太陽光パネルを設置し、環境にも優しい伝統あるまちとして、今後も施設整備を推進していく。 | | | | | | | |
| | 地域伝統芸能保存事業 | 継続的に青少年等を地域伝統芸能等の後継者として育成しているその成果を発表する場として公演事業を実施 | | | 毎年10月1日から11月30日までを市文化月刊と位置づけ、市指定有形民俗文化財に指定されている「後山からくり懐絵」（西祖谷後山地区）と「徳善からくり懐絵」（西祖谷徳善地区）を保存・継承する地元保存会による懐からくりの公演や各種コンサート、作品展等イベントを実施し、伝統文化の継承や文化財保護への啓発が図られた。 | | | | | | | |
| 計画外で独自に実施した事業 | 定住交流事業 | 交流や移住を促進するために移住相談の受付や定住サイトHPなどを活用し移住支援を実施 | | | 東京・大阪で移住希望者を対象とした移住セミナー・相談会の開催や、市公式HPでの情報発信を実施したが、人口減少対策の観点からも、移住者支援は重要と考えられるため、更なる移住者支援策が求められる。 | | | | | | | |
| ④評価方法 | 評価会議にて評価・検討を行い、結果を決定した。 | | | | | | | | | | | |
| ⑤事後評価の公表方法 | 徳島県・三好市・東みよし町ホームページに掲載 | | | | | | | | | | | |
| ⑥計画全体の総合評価 | 本地域再生計画では、市道整備では市内各所の道路改良、舗装補修により安全・安心な道路環境の整備を進めるとともに、林道整備では開設及び改良舗装を行うことにより間伐実施面積、木材出荷量ともに増加し林業振興に資した。また、市町村道、林道、農道の一体的整備によるネットワーク化が進んだことで滞在・体験型観光の促進による、特に海外からの観光客が大きく増加するなど、事業効果はあったものと考えている。 | | | | | | | | | | | |
| ⑦今後の方針等 | 地域間ネットワーク整備による地域活性化については、一定の効果があったと考えられるものの、三好地域（三好市・東みよし町）の人口動態は平成23年3月の46,832人から平成27年3月には43,695人と依然として減少傾向が続いており、地域創生が今後の重要な要因となることから、滞在・体験型観光や農林業の振興など地域産業の振興をより一層すすめる、地域雇用の拡大や安定化による地域創生を図るための方策として、地域間ネットワークの整備を推進する。 | | | | | | | | | | | |